

年間授業計画

通知表の評価規準

令和8年度

広島市立仁保中学校

第3学年

目次

- ・ 評価について
- ・ 各教科の目標と年間授業計画

国 語
社 会
数 学
理 科
音 楽
美 術
保健体育
技 術
家 庭
英 語

評価について

1. 観点別学習状況 評価の各観点

各教科の目標に照らして、その実現状況を、観点ごとにABCの3段階で評価したもの

A:十分満足できる
B:おおむね満足できる
C:努力を要する

【観点】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に 学習に取り組む態度
-------	-------------	-------------------

2. 評定

各教科の目標に照らして、その実現状況を、54321の5段階で総合的に評価するもの

5:十分満足できるもののうち、特に程度が高い
4:十分満足できる
3:おおむね満足できる
2:努力を要する
1:一層努力を要する

3. 5段階評価および観点別評価の習得率

5段階評価	習得率		観点別評価
5	90%以上		A
4	80%以上	90%未満	
3	50%以上	80%未満	B
2	20%以上	50%未満	C
1	20%未満		

学年	3 学年		教科 目標	学 習 内 容	評 価 規 準
教科	国語科				
月	課	単元名	時数		
4		世界はうつくしいと (詩) 握手(小説) 評価しながら聞く(聞く) 季節のしおり 春	7	自分なりの解釈を踏まえて、詩の内容を捉える。また、自分にとっての「うつくしいもの」を考える。 登場人物の言動や描写、エピソードから人物像やその人の行き方、考え方を読み取る。	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、五感を磨き語彙を豊かにしている。 ルロイ修道士の人物、考え方、生き方や、それに対するわたしの気持ちを読み取っている。
5		学びて時にこれを習ふ(漢文) 練習 文章の種類を選んで書こう 漢字①	10	「論語」を読むことで学ぶということや人間関係のあり方について述べていることに気づく。 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫する。 様々な熟語の読み方について理解する。	「論語」を読み、孔子の考え方を自分たちの生活と関連付けて考えようとしている。 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫している。 熟語の読み方を理解しようとしている。
6		作られた「物語」を超えて (論説) 説得力のある構成を考えよう 文法への扉① 実用的な文章を読もう	10	具体と抽象など、情報と情報の関係について理解を深め、論理の展開の仕方などを捉える。 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し伝え合う内容を検討する。 1・2年生で学んだ文法を復習する。 情報を伝えるための工夫を理解し、実用的な文章を生活の中でどう生かしていくか考える。	論説の特性を踏まえ、原因と結果、意見と根拠、具体と抽象などの関係に着目して、論理の展開の仕方を図式化しながら捉えている。また、自分の考えをまとめている。 話す目的や相手を明確にし、相手の立場にたつて伝える必要がある情報を選んでいる。 事実や事例の選び方、取り上げ方や語句の選び方に着目して文章を読み、書き手の思惑や意図について考えている。
7		報道文を比較して読もう 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉① 書写	10	文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考え、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 俳句のおおよそを理解し、親しむ。自分の心に響く俳句を見だし、読み味わう。 語彙を豊かにし、適切な言葉を選ぶ。語感を捉え、場面にあふさわしい言葉を選ぶ。 自分が書いた文字を振り返る。	観点ごとに情報を整理し、着眼的を参考に情報の客観性や信頼性を確認しながら表にまとめている。 俳句の約束事を理解し、俳句に込められた作者の思いや情景を読み味わっている。 進んで文章を読み、内容を深めようとしている。 既習の文法知識を振り返って話し合おうとしている。
9		挨拶(詩) 故郷(小説)	10	多面的な読みを引き出す読書方法に気づく。 詩に表現されている内容を、人間や社会について考え、現実の世界のあり方と対応させながら読む。	表現や場面・人物設定などに着目して読み、自分の物見方や考え方を広げるとともに、読書生活について考えている。 原爆を題材にしても、現代の読者へ警鐘を鳴らすと言う詩の主題を捉え、内容を読み取っている。 作品を読み、人と人との関わりについて考えようとしている。
10		複数の意見を読んで、考えよう(論説) 考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して書こう 漢字②	10	内容の信頼性や客観性を確かめながら要旨を捉え、文章の比較を基にグループで討論し、考えを広げ考えをまとめる。 批評文について知り、題材を選び、観点を決めて分析した後、構成を考え文章を書く。 熟語の構成、部首、漢字の音訓などの既習事項を思い出す。	自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。 「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 学年別漢字配当表に示されている漢字や、第2学年までに学習した常用漢字を、文や文章の中で使おうとしている。
11		合意形成に向けて話し合おう 初恋(詩) 和歌の世界 古今和歌集 仮名序 君待つと 夏草「おくの細道」から	11	合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決める。また、グループで具体的な提案を考え全体会議を開き提案の検討を行う。 言葉の響きやリズムを味わい、語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。 朗読を通して古典のリズムを楽しむ。 和歌の世界に触れる楽しさを味わい、進んで作品に向かう態度を養う。 三大和歌集の作品を読み、歴史的な背景や昔の人のもの見方や考え方を捉える。 芭蕉の作品に関心を持ち、歴史的な背景などを想像しながら読み味わう。	合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見直しをもって話し合おうとしている。 文語定型詩の構成や場面の展開に注意して、表現された情景や心情を想像している。 表現技法等古文特有の表現に気づき、朗読に生かしている。 それぞれの和歌集の歴史的な背景や特徴を捉え、和歌の鑑賞に生かしている。 作品に描かれた作者のものの見方を捉え、自分のものの見方や考え方を深めようとしている。
12		それでも、言葉を(論説) 情報を読み取って文章を書こう 漢字③ 文法の扉②	10	筆者の考えを確認しながら全文を通読し、筆者による用語の言い換えや概念の説明のしかたなどにも着目させ筆者の考え方について理解を深めさせる。また、自分の考えをまとめる。 筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現の仕方について評価する。 話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、話題の解決に向けて互いの考えを生かしあう。 社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 「ない」の文法上の違いを理解する。	文章を批判的に読み、友達と意見を交換しながら、筆者の考えについて自分の考えをまとめている。 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見直しをもって小論文を書こうとしている。 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
1		温かいスープ(随筆) 私を束ねないで(詩) 書写	11	時代背景や筆者の置かれた状況を捉えながら全文を通読し、筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。また、国際性について自分の考えをもつ。 朗読を通して、詩のもつイメージを捉える。そして、作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。 自分の文字を振り返る。	文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取ったり、読書が自分の生き方や社会について考えるきっかけとなることに気づいたりしている。 詩を読んで進んで考えを広げたり深めたり、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2		律儀な桜(随筆) 初日(詩) 漢字④	10	筆者の考えをもとに全文を通読し、人と自然、時とともに変わるもの、変わらないものに思いを寄せ、自分の考えをもつ。 詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、描かれた情景や心情を捉え、自分の意見を持つ。 二年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使慣れる。	表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えをもととしている。 問題に取り組み、漢字への理解を深めようとしている。
3		3年間の歩みを振り返ろう	6	三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫している。	中学三年間の学習を振り返り、自分の学びを冊子にまとめようとしている。
			105	合計授業時間数	

学年	3学年	教科 社会科	教科 社会科	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。 (1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		歴史 第6章 二度の大戦と日本 1節 第一次世界大戦と日本	6	<ul style="list-style-type: none"> ●第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢と、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 ●戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動きなどを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢と、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第一次世界大戦前後の国際情勢について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
4・5		2節 大正デモクラシーの時代	5	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きから、なぜ民主主義を求める風潮が高まったかを理解させる。 ●世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きから、なぜ民主主義を求める風潮が高まったかを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5		3節 世界恐慌と日本の中国侵略	6	<ul style="list-style-type: none"> ●経済の世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 ●経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済の世界的な混乱と社会的問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5・6		4節 第二次世界大戦と日本	6	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 ●戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
6		第7章 現代の日本と私たち 1節 戦後日本の出発	5	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の民主化と再建の過程などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ●諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●我が国の民主化と再建の過程などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

6 7	2節 冷戦と日本の発展	6	<ul style="list-style-type: none"> ●冷戦、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ●高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ●諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●冷戦、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ●高度経済成長、国際社会との関わりなどを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
7	3節 新たな時代の日本と世界	6	<ul style="list-style-type: none"> ●国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。 ●国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
9	公民 第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち	5	<ul style="list-style-type: none"> ●現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られることについて理解させる。 ●位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、グローバル化、情報化、少子高齢化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、グローバル化、情報化、少子高齢化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●私たちが生きる現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
9	2節 私たちの生活と文化	4	<ul style="list-style-type: none"> ●現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ●位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現代社会における文化の意義や影響について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
9	3節 現代社会の見方や考え方	5	<ul style="list-style-type: none"> ●現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。 ●人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●現代社会をとらえる枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ●人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現代社会をとらえる枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
10	第2章 個人の尊重と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法	6	<ul style="list-style-type: none"> ●人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 ●日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、日本国憲法が大切にされてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ●日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、日本国憲法が大切にされてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
10	2節 人権と共生社会	7	<ul style="list-style-type: none"> ●人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、日本国憲法において人権保障が大切にされている理由について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●人権保障が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、日本国憲法において人権保障が大切にされている理由について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人権保障が大切にされている理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

10	3節 これからの人権保障	5	<ul style="list-style-type: none"> ●社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会の変化に伴って人権の考え方が変化していく中でも、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会の変化に伴って新しい人権が認められてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
10	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治	7	<ul style="list-style-type: none"> ●議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
11	2節 国の政治の仕組み	10	<ul style="list-style-type: none"> ●国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 ●国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して国の政治の在り方について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●国の政治の在り方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ●国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して国の政治の在り方について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国の政治の在り方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
11	3節 地方自治と私たち	6	<ul style="list-style-type: none"> ●地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、地方自治の課題とその解決策について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地方自治の基本的な考え方について理解している。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、地方自治の課題とその解決策について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
12	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済	6	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
12	2節 生産と労働	5	<ul style="list-style-type: none"> ●現代の生産などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察させ、表現させる。 ●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
12	3節 市場経済の仕組みと金融	6	<ul style="list-style-type: none"> ●市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解させる。 ●現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

12	4節 財政と国民の福祉	4	<ul style="list-style-type: none"> ●社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 ●財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会資本の整備、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ●財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
12	5節 これからの経済と社会	4	<ul style="list-style-type: none"> ●公害の防止など環境の保全について、その意義を理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 ●国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公害の防止など環境の保全について、その意義を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
1	第5章 地域社会と私たち 1節 国際社会の仕組み	6	<ul style="list-style-type: none"> ●世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際、領土(領海、領空を含む)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、国家や国際連合、地域主義などの国際社会が抱える課題について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●主権国家や国際連合、地域主義など、国際社会のさまざまな主体について関心を持ち、主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ●領土(領海、領空を含む)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、国家や国際連合、地域主義などの国際社会が抱える課題について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主権国家や国際連合、地域主義など、国際社会のさまざまな主体について関心を持ち、主体的に社会に関わろうとしている。
1	2節 さまざまな国際問題	5	<ul style="list-style-type: none"> ●貧困、難民、地球環境、資源・エネルギーなどの課題の解決のために経済的、技術的協力などが大切であることを理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、国際問題やその解決策について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●国際社会のさまざまな問題について関心を持ち、日本の果たすべき役割を主体的に考え、また、個人として主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●貧困、難民、地球環境、資源・エネルギーなどの課題の解決のために経済的、技術的協力などが大切であることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、国際問題やその解決策について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際社会のさまざまな問題について関心を持ち、日本の果たすべき役割を主体的に考え、また、個人として主体的に社会に関わろうとしている。
2・3	3節 これからの地域社会と日本	5	<ul style="list-style-type: none"> ●世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解させる。 ●対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ●世界平和と人類の福祉の増大のため、国際協力に主体的に関わろうとさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の尊重と協力、各国民の相互理解と協力が大切であることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界平和と人類の福祉の増大のため、国際協力に主体的に関わろうとしている。
2・3	終章 より良い社会を目指して	4	<ul style="list-style-type: none"> ●社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述させる。 ●私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
		140	合計授業時間数	

学年	3学年		教科 目標		
教科	数学科				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		式の計算	12	1. 多項式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ○単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ○式の展開を理解し、公式や既習の計算方法と関連付けて、式を展開し計算することができる。 ○式の展開について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
5		式の計算 平方根	14	2. 因数分解 3. 式の利用 章の問題 1. 平方根	<ul style="list-style-type: none"> ○因数、因数分解の意味を理解し、公式を用いて因数分解することができる。 ○乗法公式などと関連付けて因数分解する方法を考察し表現できる。 ○文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え、説明することができる。 ○式の展開や因数分解について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
6		平方根	16	2. 根号を含む式の計算 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○数の平方根の必要性和意味、大小関係を理解し、記号を用いて表すことができる。 ○既習の計算方法と関連づけて数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 ○数の平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
7		2次方程式	16	1. 2次方程式の解き方 2. 2次方程式の利用 章の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○2次方程式の必要性和意味及び解の意味を理解している。 ○平方根や因数分解、解の公式を用いて2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ○2次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
9		関数 $y=ax^2$	15	1. 関数 $y=ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> ○関数$y=ax^2$の変化や対応の特徴を理解している。 ○2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ○関数$y=ax^2$について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
10		関数 $y=ax^2$ 相似な図形	16	2. いろいろな関数 章の問題 1. 相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解している。 ○三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ○平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について考えようとしている。
11		相似な図形	15	2. 平行線と相似	<ul style="list-style-type: none"> ○中点連結定理など、平行線と線分の比についての性質について理解している。 ○平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。 ○図形の相似を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
12		相似な図形 円	12	3. 相似な図形の面積比・体積比 章の問題 1. 円周角と中心角	<ul style="list-style-type: none"> ○相似な図形の相似比と面積比との関係について理解している。 ○基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積比や体積比との関係について理解している。 ○図形の相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
1		円 三平方の定理	12	2. 円周角の定理の利用 章の問題 1. 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ○三平方の定理を見だすことができる。 ○円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。
2		三平方の定理 標本調査	10	2. 三平方の定理の利用 章の問題 1. 標本調査	<ul style="list-style-type: none"> ○三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 ○三平方の定理を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○全数調査の意味、及び標本調査の必要性和意味を理解している。 ○標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。
3		標本調査 3年の復習	2	章の問題 1年間のまとめ問題 3年間のまとめ問題	<ul style="list-style-type: none"> ○標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
			140	合計授業時間数	

学年	3 学年	教科 目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
教科	理科			
月	課	単元名	時数	学習内容 評価規準
4 ～ 7		[生命] 生命の連続性	20	<p>生殖の観察などを通して、生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見だし、その違いを理解させる。また、種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉えさせるとともに、有性生殖における減数分裂について理解させる。</p> <p>生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わること、そしてその伝わり方に規則性があることを理解させる。</p> <p>現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生きてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解させる。また、生物の間のつながりを時間的に見ることを通して進化の概念を身につけさせる。</p>
				<p>太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面のようすなどの特徴を見だし理解させたり、観測資料などから、惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解させたりするとともに、太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。</p> <p>太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解させるとともに、季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解させ、天体の動きを観察する技能を身につけさせる。</p> <p>月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解させるとともに、月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。</p>
4 ～ 7		[地球] 宇宙を観る	20	<p>太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面のようすなどの特徴を見だし理解させたり、観測資料などから、惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解させたりするとともに、太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。</p> <p>太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解させるとともに、季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解させ、天体の動きを観察する技能を身につけさせる。</p> <p>月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解させるとともに、月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につけさせる。</p>
				<p>水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見だし理解させる。次に、電解質水溶液の電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を見だし、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解させる。</p> <p>金属イオンについての実験を探究的にを行い、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見だし、イオンのモデルと関連づけて理解させる。また、電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを見だし、イオンのモデルを用いて電池の基本的なしくみを説明できるようにする。さらに、いろいろな電池に関心をもたせ、燃料電池の原理についても紹介する。</p> <p>酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと酸化物イオンによることを見だし、電離のようすをイオンのモデルを用いて説明できるようにする。また、中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見だし、中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。</p>
8 ～ 2		[物質] 化学変化とイオン	27	<p>水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見だし理解させる。次に、電解質水溶液の電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を見だし、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解させる。</p> <p>金属イオンについての実験を探究的にを行い、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見だし、イオンのモデルと関連づけて理解させる。また、電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを見だし、イオンのモデルを用いて電池の基本的なしくみを説明できるようにする。さらに、いろいろな電池に関心をもたせ、燃料電池の原理についても紹介する。</p> <p>酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと酸化物イオンによることを見だし、電離のようすをイオンのモデルを用いて説明できるようにする。また、中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見だし、中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。</p>
				<p>水中にある物体には浮力がはたらくことを見だし、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解させる。次に、合力を導入し、作図によって合力を求めることができるようにする。最後に、分力の求め方を理解させる。</p> <p>記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動のようすを調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。</p> <p>仕事の定義を理解させ、仕事の原理を見だし、また、仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見だし、摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解させる。</p> <p>身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づかせ、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解させるとともに、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解させる。</p> <p>人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識させる。</p>
8 ～ 2		[エネルギー] 運動とエネルギー	34	<p>水中にある物体には浮力がはたらくことを見だし、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解させる。次に、合力を導入し、作図によって合力を求めることができるようにする。最後に、分力の求め方を理解させる。</p> <p>記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動のようすを調べる方法を身につけさせ、物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。</p> <p>仕事の定義を理解させ、仕事の原理を見だし、また、仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見だし、摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解させる。</p> <p>身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づかせ、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解させるとともに、エネルギーの総量は一定に保たれることを理解させる。</p> <p>人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識させる。</p>
				<p>植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連づけて捉え、自然界では、これらの生物がつり合いを保って生活していることを観察などを通して見だし理解させる。</p> <p>日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識させ、物質を有効利用するためには、物質の再利用などがたいせつであることに気づかせる。</p> <p>科学技術の発展の過程について、どのようなものがあるかを理解させ、さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かに便利にしていることを認識させる。また、最新の科学技術について調べ、これからの科学技術の発展の方向性を、科学的根拠をもって検討させる。</p> <p>身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い、人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解させ、自然環境を保全することの重要性を認識させるとともに、大地の特徴を理解し、自然を多面的、総合的に捉え、自然と人間の関わり方について、科学的に考察して判断する能力や態度を身につけさせる。</p> <p>科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉えさせ、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について科学的に考察させ、持続可能な社会をつくることの重要性を認識させる。</p>
3		3年間の復習	13	<p>中学校3年間で学習した内容を復習し、理解を深める。</p>
			140	合計授業時間数

【知識・技能】
事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】
事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【主体的に学習に取り組む態度】
事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

学年	3学年		教科 目標	学習内容	評価規準
教科	音楽科				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
				(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようになる。 (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。	
4		日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	2	花	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ○歌詞が表す情景や心情、曲の背景及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
5		日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	2	花の街	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ○旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ○詩や曲の背景を理解し、そこに込められた思いを生かした歌唱表現や美しい日本の「心の歌」に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
6		曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	4	アルトリコーダーLesson4	○曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ○創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 ○旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ○曲想を感じ取って、リコーダーの奏法を工夫すること、旋律の掛け合いや音の重なりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
7		音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	4	ブルタバ(モルダウ)	○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 ○音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
9		音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	4	ポレロ	○曲想と音楽の構造との関わりや、音楽の特徴と他の芸術との関わりを理解している。 ○音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、ともに曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
10		仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	5	クラス合唱	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11		曲想との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	2	帰れソレントへ	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ○速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ○歌詞が表す情景や心情及び同主調の表情や味わいに関心をもち、カンツォーネの情熱的で表情豊かな歌唱表現を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
12		能に親しみ、その魅力を味わおう	3	能「教盛」	○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 ○音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、ともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○語や囃子の音色やリズム、速度の変化、演者の所作や舞、歴史的背景などに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1		日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	3	尺八楽「栗鶴鈴森」	○我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 ○音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、ともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○尺八の音色や様々な奏法による音色の変化、旋律の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2		日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	2	早春賦	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 ○リズム、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
3		仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	4	学年合唱	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりについて理解している。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 ○音色、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び、曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
			35	合計授業時間数	

学年	3学年		教科 目標	学 習 内 容	評 価 規 準
教科	美術科				
月	課	単元名	時数		
4		・オリエンテーション ・形と色の挑戦 (抽象画制作)	2	教科の目標と関連させながら、1年間の計画や内容を理解する。目に見えないものを形や色で表す抽象画について理解を深め、偶然にできる形や色の効果を生かしながら自分自身の気持ちを表現する。	○主体的に自分自身を作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に他者の作品の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○形から感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、効果的なデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。
5			4		
6			6		
7		ゲルニカ、明日への願い	2	ゲルニカを描いたピカソの人生に触れ、作品を見て感じ取ったことを話し合う。また、ピカソ作品のメッセージ性の高さに着目し、強烈なメッセージを伝えるポスターを目指して仕上げる。	○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品がつくられた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○時代背景と関連づけながら表現の特徴を鑑賞することで、見方や感じ方を深めることができる。
9		抽象画 (アルバムのジャケットを作成)	4	抽象画とは何かを理解し、自分の好きな曲のアルバムのジャケットを抽象画と合わせて表現する。局の意味などを歌詞やリズムそして歌い方などに共感し曲にふさわしい作品にしている。	○作品に対する意味や感情を自分なりに理解し、作品を作成し鑑賞することができる。 ○マッピングや交流を通して発想を広げ、絵で表現することができる。 ○抽象画の特徴を学び、その特徴を生かして制作することができる。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫して表現の学習活動に取り組もうとしている。
10			4		
11			4		
12			1		
1		美術史	3	世界では美術がどのように発展したのかを知り日本以外の歴史をひも解く。	○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品がつくられた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ○時代背景と関連づけながら表現の特徴を鑑賞することで、見方や感じ方を深めることができる。
2		点描	4	卒業制作として、「三年間の思い出」をテーマにした作品を、点描画で表現する。	○形から感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、効果的なデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。 ○様々な資料を用い、デザインを構想することができる。 ○点を重ね、美しくを表現することができる。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に他者の作品の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3			1		
			35	合計授業時間数	

学年	3学年		教科 目標	学 習 内 容	評 価 規 準
教科	保健体育科(男子)				
月	課	単元名	時数		
4		体づくり運動 保健	11	体ほぐしの運動・体力を高める運動 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
5		C 陸上競技 保健	13	走り幅跳び(男女共修) 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。
6		C 陸上競技 D 水泳 保健	8	背泳ぎ 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守することなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
7		D 水泳 保健	8	背泳ぎ 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守することなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
9		F 武道 保健	8	なぎなた(男女共修) 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・なぎなたでは、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を身につけることができる。 ・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。 ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。
10		E 球技 保健	8	ソフトボール 健康な生活と病気の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができる。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに自主的に取り組むことができる。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、事故の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。
11		E 球技 保健	8	ソフトボール 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができる。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに自主的に取り組むことができる。 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、事故の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できる。
12		E 球技 保健	10	バスケットボール 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
1		E 球技 保健	9	バスケットボール 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
2		C 陸上 保健	11	長距離走(男女共修) 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走では、ペースを守って走ること、ハードル走では、リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。
3		E 球技 保健	11	サッカー 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
			105	合計授業時間数	

学年	3学年		教科 目標		
教科	保健体育科(女子)			学習内容	評価規準
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4		体づくり運動 保健	11	体ほぐしの運動・体力を高める運動 健康な生活と疾病の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。 ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の仲間の学習を援助しようとする、一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。
5		C 陸上競技 保健	13	走り幅跳び(男女共修) 健康な生活と疾病の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。 ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ったりしている。
6		C 陸上競技 D 水泳 保健	8	背泳ぎ 健康な生活と疾病の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。
7		D 水泳 保健	8	背泳ぎ 健康な生活と疾病の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保している。
9		F 武道 保健	8	なぎなた(男女共修) 健康な生活と疾病の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・なぎなたでは、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を身につけることができる。 ・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようになる。 ・伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。
10		E 球技 保健	8	バレーボール 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
11		E 球技 保健	8	バレーボール 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
12		E 球技 保健	10	ハンドボール 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
1		E 球技 保健	9	ハンドボール 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともにフェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ったりしている。
2		C 陸上競技 保健	11	長距離走(男女共修) 健康と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走ではペースを守って走ることができる。 ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ったりしている。
3		E 球技 体育理論 保健	11	卓球 健康と環境 文化としてのスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
			105	合計授業時間数	

学年	3学年		教科 目標		
教科	技術				
月	課	単元名	時数	学習内容	評価基準
4		情報とコンピュータ	2	①情報に関する技術と役割 ②情報を扱う機器の構成 ③プログラムの構造と表現 ④情報のデジタル化 ⑤デジタル情報の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・処理の流れや手順を図で適切に表現でき、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・情報の表現、記録、計算についての科学的な原理・法則や情報のデジタル化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明することができる。
5		情報の表現と伝達	1	①使いやすさを工夫した情報の表現 ②メディアを利用した情報の表現 ③情報通信ネットワークのしくみ ④Webのしくみと情報の表現	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解し、メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明することができる。 ・情報通信についての科学的な原理・法則と情報通信ネットワークの構成に関する基本的な仕組みを説明することができる。 ・情報ネットワーク上で情報を利用する仕組みを説明することができる。
6		情報セキュリティと 情報モラル プログラムの利用	5	①情報セキュリティ ②情報モラル ③知的財産の保護と活用 ①プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明することができる。 ・処理の自動化に関わる基礎的な技術の仕組みを説明することができる。
7					
9					
10		コンテンツ制作と利用	4	①プログラム言語の利用 ②配列・変数などの機能を知り、問題の解決策を踏まえて効果的なコンテンツの設計をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なプログラムの作成、動作確認及びデバッグ等ができる。
11					
12		双方向性のあるコンテンツによる問題解決	5	①問題解決の流れ ②課題の解決策を、条件を踏まえて構想する ③プログラムの試作・試行を通じて設計を具体化し、制作工程表にまとめる。 ④制作工程表をもとに、安全・適切なプログラムを制作する。	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 ・双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定することができる。 ・使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 ・制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら、合理的な解決作業を考えることができる。 ・問題解決とその過程を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。
1					
2					
3		これからの情報の技術	1	①情報の技術の学習をふり返ろう ②情報の技術と私たちの未来	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会に果たす役割や影響について情報の技術の概念を説明することができる。 ・よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
			18	合計授業時間数	

学年	3 学年		教科 目標		
教科	家庭科				
月	課	単元名	時数	学 習 内 容	評 価 規 準
4		・自分の成長と家族、 家庭生活	4	<ul style="list-style-type: none"> ・今の自分とこれまで ・私の生活と家族、家庭 ・家庭を支える社会 ・中学生にとっての家族 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長は家族をはじめ、多くの人に支えられ、影響を受けてきたことに気づいている ・自分の成長や周囲の人びとのかかわりを通して、自分らしさについて考えている ・家庭には様々な活動があることと、家庭の主な機能(はたらき)について理解している ・現在の自分が家庭を支える仕事について何ができるか考えている ・家庭関係をよりよくするために、家庭や地域の人びとと協力することがあると気づいている
5		・幼児の生活と家族	6	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児のころと今の自分 ・幼児の体の発達 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の成長は周囲の人とのかかわりや支えの中で育まれたことを自分の成長を振り返りから理解し、幼児と幼児の学習に対して関心を寄せている ・幼児の体の発達について、話し合いに参加したりよく考えたりして、幼児の身体の発達について、発達の方向性や順序性ととともに、個人差があることを理解する
6	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心の発達 ・発達にとってのおとなの役割 			<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな場面を見たり、話し合いをしたりする活動を通して、幼児の言語、認知、情緒、社会性などの発達について理解する ・基本的な生活習慣や社会的な生活習慣獲得の意義を説明できる ・子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について考えている ・子どもの発達を理解し、子供が育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について説明できる 	
7	家族・ 家庭生活			<ul style="list-style-type: none"> ・遊びが必要なわけ ・遊びを支える環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験から思い出し、積極的に考え発表できる ・安全安心なおもちゃに関わる基準や法令がわかる ・能力を育てるおもちゃについて理解している ・遊びの意味がわかる ・自分の経験を積極的に発表できる ・遊ぶ場所の環境が安全であることが大事だと理解ができる ・遊びの安全、安心を考えることができる ・幼児は発達段階により、また、個人差により対応が異なることを理解している ・伝承遊びの大切さを知る
8				<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活と地域での活動 ・多様な人びとが暮らす地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人びとのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている ・家庭生活は地域との相互のかかわりで成り立っていることについて理解している ・地域の人びととかかわり、協働する方法について問題を見いだしている ・地域の多様な人びとと協働する必要があることを理解している ・地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、地域の生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている ・高齢者など地域の人びとと協働する必要があることや介護など高齢者とのかかわり方について理解している ・介護など高齢者との関わり方について理解している ・高齢者など地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している ・地域とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている
9		<ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす高齢者 ・高齢者とのかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、政策が適切にできる。 	
10		・幼児とのふれあい (作品製作)	6		
11					
12					
1		3年間を振り返って		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習を振り返ってみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのことができるようになったことに気づく ・家庭分野で学習しことをこれからの生活にいかそうとしている。
2					
3					
			18	合計授業時間数	

学年	3年		教科目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを旨とする	
教科	英語科		単元名	学習内容	評価規準
月	課	単元名	時数	学習内容	評価規準
4	Review Lesson Lesson 1	Washoku, or Japanese Cuisine Aya's Homestay in Vancouver	12	[主語+動詞(+間接目的語+how to不定詞) It+be動詞+～(for～)+to不定詞 make(call) A B 復習事項 仕方・すべきこと・事柄が人にとってどうかを説明する 日本文化の紹介 2年生で学習した表現を使った情報を理解できる 現在完了(完了)の肯定文 現在完了(完了)の疑問文とその応答 現在完了(経験)の肯定文 現在完了(経験)の疑問文とその応答	【知技】[主語+動詞(+間接目的語+how to不定詞) It+be動詞+～(for～)+to不定詞 make(call) A B の文の特徴や決まりを理解している、また、聞き取る技能を身につけている。 【知技】現在完了形の完了及び経験を表す文の特徴や決まりを理解し、それを基に日常的な話題の対話や発話を聞き取る技能を身につけている 【思判表】料理の作り方の説明を聞き、要点を理解している、また、電子メールを見て要点を理解できる
5	Activities Plus1 Tips for Speaking① Useful Expressions① Lesson 2	The Eagles of Hokkaido	14	話の概要を捉える 英語で手紙を書く 現在まで続いていることを説明する、継続の期間を質問する、今も続く動作を説明する 現在完了(継続)の肯定文 現在完了(継続)の疑問文とその応答 現在完了進行形	【知技】現在完了形の継続や現在完了進行形の特徴や決まりを理解し、それを基に 何をどのくらい行っているのかを聞き取る技能を身につけている、また、その応答が出来る 【思判表】話に出てきた内容を深めるために、記事を読み、要点を捉えて、伝え合っている 【知技】現在完了形の継続や現在完了進行形の文を用いて、文を書く技能を身につけている
6	Review / Task Grammar Tips for Listening① Useful Expressions② Tips for Reading① Lesson 3 Review / Task Grammar	Space tourism	14	聴き取ったことを発表する 物語文の出来事の順に注意して読む 人や物について説明する 後置修飾(現在分詞・過去分詞・接触節)使って、情報を伝える 聴き取ったことを要約して発表する	【知技】分詞や[主語+動詞]による後置修飾の特徴や決まりを理解し、その理解を基に、イベントなどについての説明文を読み取る技能を身につけている 【思判表】購入したい商品を決めるために、複数の情報を比較しながら必要な情報を読み取っている 【知技】、分詞や[主語+動詞]による後置修飾を用いて書く技能を身につけている
7	Activities Plus② Tips for Listening② Project1 Reading 1	The best Product Ever	13	CMを作って発表する 商品の特徴について整理し、聞き手にわかりやすく伝える 伝記を読む 自分の知りたい情報について捉えることができる	【思判表】相手の理解を促すために、商品の特徴について整理し、聞き手にわかりやすく話している 【思判表】伝記を読んで、自分の知りたい情報について捉えている
9	Lesson 4 Review / Task Grammar Tips④ for Writing	People Who Support Success	14	・関係代名詞 レポートや新聞記事などに事実や感想などを書くことが出来る 関係代名詞(主格・目的格)を使った表現 人や物について説明する 読み手にわかりやすい文章の書き方	【知技】関係代名詞の特徴や決まりを理解している、また、その理解を基に、内容を読み取り、口頭で説明する技能を身につけている 【思判表】伝えるために、本で読んだことや自分で調べた有名人について説明した上でその人についての自分の感想を書いてまとめる、発表している
10	Lesson 5 Activities Plus 3 Tips for Writing① Tips for listening③ Tips for Reading② Tips for Writing② Useful Expressions③	Be Yourself	15	・仮定法 話し手が伝えたいことを捉え、それに対して自分の意見を書いたりすることが出来る 仮定法 現実とは異なることを仮定して述べる、実現が困難な願望を述べる 聞き取ったことを要約して書く 先を予測しながら読む 自分の考えを具体的に伝える	【知技】基本的な仮定法の特徴や決まりを理解し、その理解を基に、家庭や学校などの日常的な話題について話されたことの内容を聞き取る技能を身につけている 【知技】家庭や学校などの日常的な話題について仮定法を用いて考えなどを書く技能を身につけている 【思判表】あるテーマについての他社の意見を知り自分の意見や考えを伝えるために、話やスピーチを聞いて要点を捉えている 【思判表】読み手にわかりやすく伝えるために、構成を考えながら、事実や自分の意見や例のどをまとめる文章を書いている
11	Lesson 6 Tips for Speaking② Project 2 Tips for Reading③	Why do We Have to Work?	14	相手の意見の要点を聞き取り、自分の考えを整理しながら自分の意見を述べる事が出来る 相手に自分のことをより伝えるために、簡単な語句や文を用いて、事実や考えを即興で話すことが出来る 中学校生活をテーマにしたまとまりのある卒業スピーチをする	【知技】意見を述べるときの基本的な表現を理解し、その表現を利用して伝え合う技能を身につけている 【思判表】スピーチの内容について感想を述べるために、自分の知りたいことを質問したり、話し手のことを考えた感想を述べたりしている
12	Lesson 7 Activities Plus4	Debating Doggy Bags	12	ディベートにおいて、相手の意見を聞いて要点を捉えながら自分の意見を主張したり、反論したりすることが出来る	【知技】自分の意見を述べるために、話し手の意見を聞いて、要点を捉えている 【思判表】ディベートで立論スピーチを行うために、ある話題について事実、理由、自分の考えなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている
1	Project3	Let's Try Debating	13	ディベートの進め方を理解し、説得力のある主張ができる	【知識】疑問文の意味を理解しているとともに、質問に対する応答の仕方を理解している。 【技能】相手からの質問の意味を捉え、正しい文で答えるとともに、関連する情報を付加して応答する技能を身につけている。 【思判表】自分のことを理解してもらうために、身近な話題についての質問に、情報を加えて応答している。
2	Further Reading 1 Further Reading 2 Further Reading 3	My prayer for Peace Yes, Virginia, There Is a Santa Claus Counting on Katherine Johnson Speaking Out for a Better World	13	スピーチ文の内容を他の人に伝えるために、スピーチを書いた人の伝えたい事実や考えなどの要点を読み取る事が出来る 主人公の気持ちの流れを味わうために、物語の概要を捉える	【思判表】文章の大まかな流れを時間軸に沿って書きまとめるために、文章の概要を捉える
3	Further Reading 4	John Mung	6	文章の大まかな流れを時間軸に沿って書きまとめるために、文章の概要を捉える	【思判表】文章の大まかな流れを時間軸に沿って書きまとめるために、文章の概要を捉える 【思判表】自分の意見や感想をまとめるために、教科書の文章について読み、自分の感想や意見などを、本文の一部を引用しながら簡単な語句や文を用いて書いている
			140	合計授業時間数	